



『令和3年のスタートに当たって』

校長 千石 正巳

令和3年が静かにスタートしました。12日から3学期も始まり、子ども達も寒さに負けず元気に登校しているところです。皆様もそうだと思いますが、今回のような静かな年明けは初めてのことでした。1日も早く子ども達がのびのびと過ごせるよう、新型コロナウイルスによる感染の終息を願うばかりです。それまでの間は、今後も学校においても感染の拡大防止対策にしっかりと取り組みます。保護者並びに地域の皆様のご理解とご協力を今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年12月の末に第2回学校運営協議会を開催し、新年度の学校運営方針を承認いただきました。その中の一つとして、全体懇談でもご説明いたしました「2学期制」（前期・後期）が、次年度から実施することも決定いたしました。新年度の方針の詳細につきましては、次号、改めてお知らせいたします。

また、次年度の学校行事の実施時期については、現在のところ、運動会は6月5日（土）、学習発表会は10月9日（土）など、基本的に例年と同様の時期に設定しております。今後も様々な調整を行い、確定したものを4月に本校ホームページに掲載するとともに、保護者の皆様へ配布する予定です。

求められる英語力！

25日（月）の3校時に「英語 de Try」を実施しました。例年、一巳小（6年）・多度志小（5・6年）と3校で、他校の児童との交流を深めながら、今までの英語の学習を活かして道案内に挑戦するものですが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のためにそれぞれの学校での実施となりました。4つのグループに分かれ、意欲的に英語を使って道案内することができました。

《英語を学習する標準時数》

	旧学習指導要領	新学習指導要領
小学校 3・4年	特に時数の設定なし	外国語活動 年35時間（週1時間程度）
小学校 5・6年	外国語活動 年35時間（週1時間程度）	外国語 年70時間（週2時間程度）
中学校 1～3年	外国語 年105時間（週3時間程度）	外国語 年140時間（週4時間程度）

小学校高学年で教科となった「外国語」ですが、上にお示したように、前回の指導要領改訂から英語に関する授業時間が、増加していることがわかりかと思えます。特に、中学校では英語が週4時間、3年間では420時間となり、一番多く習う教科となっています。小学校では、英語を「聞く力」、英語で「話す（やりとりする）力」・「話す（発表する）力」の資質・能力の育成が求められ、その達成に向け指導しています。小学校でも英語の復習が大切なことが表れています。お子さんの教科書、是非、ご覧ください。

北新小NEWS



縦割り班でゲーム集会



12月25日、縦割り班対抗のゲーム集会を行いました。夏に続く第2弾ですが、今回はどんな遊びをするか縦割り班ごとに考え、準備をし、校内かくれんぼ、巨大カルタなどをして2学期を終えました。

冬を楽しもう①



1月21日、今年度1回目のスキー学習をカムイスキーリンクスで行いました。時折雪が舞う中でしたが、それぞれ技能アップの目標をもち、チャレンジする時間を過ごしました。

英語で伝えよう



1月25日、高学年学級で英語 de Try の活動を行いました。これまで英語の時間に習ってきたフレーズを、外国の旅行客を案内するというシチュエーションで活用する学習に真剣に取り組んでいました。

冬を楽しもう②



1月26日、児童会書記局主催で雪中レク（雪だるまづくり）が行われました。丁度寒い日だったので思うように形にならないのも勉強のうち。中休み、昼休みを使って冬を味わいました。

これらの活動の様子は、本校ホームページでも公開しております。
<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/hokushin-el>

QRコードを使ってスマホなどで簡単に見られます。→



北新小学校PTA研修会

子どもに 付けさせたい力

講師 北新小学校 千石正巳校長

令和3年1月22日

北新小学校視聴覚室にて



「這えば立て 立てば歩めの親心」のことわざとおり、我が子の成長を願い、そして日増しに成長することを喜ばない親はありません。かわいいその姿を見て、まさに「目に入れても痛くない。」そんな毎日を送っていらっしゃると思います。ただ、このことわざの出典とされる江戸時代に詠まれた句には続きがあるそうです。

「はへば(這えば)たて たてば歩めと 思ふにぞ 我身につもる 老をわするる」
子ども達が、いろいろな成長を見せると同時に、親である自分は少しずつそして着実に老いているのです。いずれは、自分の手を離れ、我が子一人でこの社会を生きていくことを考えれば、これから先どのような社会になり、その社会をたくましく「生き抜く」ためには、どのような力を身に付けさせていけば良いのでしょうか。コロナ禍のため、短い1時間ほどの時間でしたが、考えていただくきっかけとしてPTA研修会を開催させていただきました。(研修部の方、ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。)以下、要点ですが講演の内容を紹介いたします。

■子ども達が向かっていく先は予測困難な時代

人はこれまで、狩猟社会(Society1.0)→農耕社会(Society2.0)→工業社会(Society3.0)→情報社会(Society4.0)と社会基盤を形成し、その恩恵を得てきました。今後(現在も)日進月歩で、コンピューター技術・情報技術が進み、仮想と現実を融合させ課題を解決する社会(Society5.0)になると予測されています。図書館に行つての情報検索を行うことなく、AIにより瞬時に必要な情報が取り出せるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、年齢や障害による労働や行動範囲の制約がなくなるのも、既に絵空事ではなくなっています。

そうした技術革新により新たな価値(恩恵)が創造されるということは、子ども達は今までにはない新たな価値観で人生を送っていくことになります。就職するには？職業の選択は？雇用形態は？定年は？年金は？と、10年20年先はクエスチョンマークだらけの時代です。

■人生100年時代に求められる「社会人基礎力」

変化の大きい予測困難な時代で働き、自らの生活基盤を築くためには社会人に必要な基盤能力「社会人基礎力」(職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な能力)が必要になると提唱されています(経済産業省)。

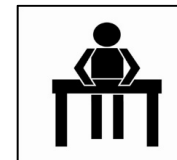
1 「前に踏み出す力(アクション)」～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

- (1)主体性…物事に進んで取り組む力
- (2)働きかけ力…他人に働きかけ巻き込む力
- (3)実行力…目的を設定し、確実に行動する力



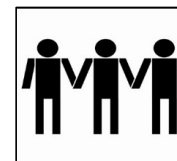
2 「考え抜く力(シンキング)」～疑問を持ち、考え抜く力～

- (1)課題発見力…現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- (2)計画力…課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
- (3)創造力…新しい価値を生み出す力



3 「チームで働く力(チームワーク)」～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

- (1)発信力…自分の意見をわかりやすく伝える力
- (2)傾聴力…相手の意見を丁寧に聞く力
- (3)柔軟性…意見の違いや相手の立場を理解する力
- (4)状況把握力…自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- (5)規律性…社会のルールや人との約束を守る力
- (6)ストレスコントロール力…ストレスの発生源に対応する力



中には、「進んで取り組む」「ルールを守る」など、これまでも家庭や学校で大切にしてきた項目もありますが、10年・20年後の「自立」を考えたときにどんな力をつけていくべきか、一度お子さんを客観的に見取るヒントになるかもしれません。

■自立させるには、大人のかかわりが大切

我が子が社会的な自立の時期を迎えるときになって、急ごしらえであれこれ指導しても身には付きません。上に挙げた「〇〇力」は、テキストを読んで身に付くものではなく「経験」を通して身に付くものだからです。「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」は、我が子の子育てにおいても同様です。好きなこと、得意なことだけさせるのではなく、あえて「困る経験」をさせることも大切です。あえて「失敗する経験」をさせることも必要です。その経験から「解決の仕方」「立ち直り方」を身に付けます。どのような経験を、いつ、誰が、どのように経験させるかということを家庭・社会・学校が分担・協力しなければ、自立のための力は身に付かないといえるでしょう。

自立し、立派に社会人として生活を送ってほしいと願うなら、今だけでなく数年先の姿を見据えて、子ども達と関わっていききたいものです。「親の甘いのは子に毒薬」。未来のために自分の子育てを振り返ってみませんか。



2月の生活目標 冬を安全に過ごそう

1日(月) 全校朝会 交通安全日
職員会議
2日(火) スキー学習予備日
3日(水) 新1年生1日入学
4日(木) 放課後教室
情報モラル教室
5日(金) 児童会役員選挙
文集原稿締め切り
8日(月) 研修日

12日(金) PTA運営委員会
15日(月) 交通安全日
特別支援校内委員会
17日(水) 児童委員会
18日(木) 放課後教室
19日(金) CS運営協議会
マナビイ文庫入替
25日(木) 6年生を送る会
参観日・懇談 PTA理事会

見通しが悪く歩道が狭い道路での自動車との接触事故、屋根からの落雪、留守番をしている間の火事・やけど、スキー場での接触事故など、冬に起こりやすい事故について各ご家庭でもご指導願います。